

藤枝・岡部町殿地区
豊作願い「虫送り」

子どもら大たいまつに火



大たいまつに火をともし子どもたち＝藤枝市岡部町殿

藤枝市岡部町殿地区で23日夜、火の中に飛び込む害虫を駆除し、虫を供養して豊作を祈願する農行事「虫送り」が行われた。子どもから大人まで多くの地元住民が参加し、水田脇の直径30～50センチ、高さ約2メートルの大たいまつに火をともし歩いた。虫送りは毎年8月23日に実施する伝統行事。戦前、害虫駆除として各地の農村で実施されていたが、戦後は農業の普及などでほとんど行われなくなった。殿地区でも一時途絶えたが、1980年ごろから村おこしの一環で地元有志が復活させ、今では夏の風物詩になっている。子どもたちはたいまつを手には、水田沿いに設置された1メートル基の大たいまつに火を付けながら、約1キロのあせ道を歩いた。鐘の音に合わせて「田の虫おーくれー」とかけ声を上げた。多くの大たいまつに火をともしると、集落は幻想的な雰囲気包まれた。

（藤枝支局・青木功太）

記事を読んで、問いに答えましょう。

- ①上の「」にあてまはる「かけ声」を書きましょう。（ **田の虫おーくれー** ）
- ②「虫送り」とは、どのような行事ですか。記事から読み取って書きましょう。
（例）火の中に飛び込む害虫を駆除し、虫を供養して豊作を祈願する（農行事）。
- ③この記事を使って、小学校5年生向けの問題を作ろうと思います。あなたなら、どんな問題を作りますか。その問題を30字以内で書きましょう（句読点を含みます）。
（例）・子どもたちはどんな気持ちで虫送りに参加していると思いますか。（30字）
・虫送りを復活させた地元有志の願いを書きましょう。（24字） など

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢 和宏
（小学校高学年～中学校／社会、総合）

年 組 名前